



## 1. 収穫適期

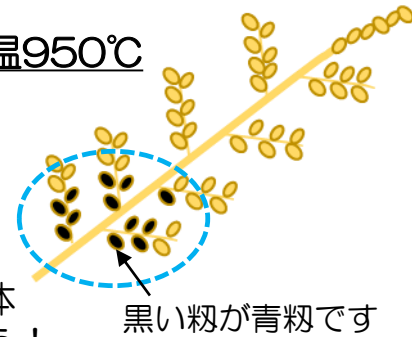
【青籾率20%】

ヒノヒカリの収穫適期は青籾率20%、出穂後の積算気温950℃です！（右図）

早刈りは、「青米」や「未熟米」が多くなります。  
刈り遅れは、「茶米」や「胴割米」が多くなります。

### 【穂の見方】

圃場中央あたりの何か所か(生育が比較的均一で圃場全体を代表できるところ)で、穂を広げてみて数えてみましょう！



## ～収穫前のポイント～

### ・早期落水はしない！

早期落水したほ場では、乳白米等による品質低下を招く恐れがあります。  
可能であれば収穫7日前まで間断灌水を続けましょう。

### ・台風前では早刈りも検討！

収穫前に台風が接近する場合は、早刈りか、湛水にして倒伏を防ぎましょう。

## 2. 乾燥・調製

急激な乾燥や過乾燥は、胴割米や食味低下の原因になるので注意しましょう。  
乾燥後の籾水分が14.5%～15%になるよう目指しましょう！

## 3. 収穫後

### (1) 雑草対策

防除が困難なオモダカやクログワイ等の主に塊茎（イモ）で繁殖する雑草が多い圃場では、水稻の収穫後の防除が重要です。



### ・稲刈り後の圃場への除草剤散布

再生した個体に、根まで枯らす除草剤（ラウンドアップマックスロード等）を茎葉に散布しましょう。

### ・秋冬期の耕起

塊茎は乾燥や寒さに弱いので、秋から冬にかけて深めに耕起して枯死させましょう。

### (2) 土作り

稲わらや刈り株は大切な土づくり資材です。地力向上のため、稲わらは燃やさずにすき込みましょう。

